

NAMURA
ART MEETING
'04-'34 vol.05

臨界の 芸術論Ⅱ

—10年の趣意書

プロジェクト・ミーティング & インタビュー

日時 2014年10月25日[土] 17:00-19:30

会場 名村造船所跡地 [大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 クリエイティブセンター大阪]

料金 無料

問合せ E-mail office@nam04-34.jp
URL <http://www.nam04-34.jp>

主催 NAMURA ART MEETING '04-'34実行委員会

助成 一般財団法人おおさか創造千島財団
平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」



おおさか創造千島財団



文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS



NAMURA ART MEETING '04-'34 Vol.05

臨界の芸術論Ⅱ—10年の趣意書

NAMURA ART MEETING '04-'34は、2004年から2034年までの30年を芸術のひと連りの現場ととらえ、ここでの〈出来事〉を共有しつつ未来を創造するという実験です。本プロジェクトは、新しい芸術の提示に留まらず、議論や考察、検証、調査、記録といった同時多発的な〈出来事〉によって、芸術活動と隣り合う社会や個人と有機的につながることを目論んでいます。また、〈MEETING〉には、社会を構成する多様な人々、多層的な事象が遭遇し、合流するという意味を含んでいます。

本プロジェクトの拠点となる名村造船所跡地が位置する木津川河口地域(大阪市住之江区)は、重工業の盛衰を伺い知ることができる場所です。〈盛衰と変遷〉を象徴する近代産業遺産であるこの広大な敷地に立ち、臨海工場地帯の風景を目の当たりにしたときに、このプロジェクトは誕生しました。なぜなら、しばらく休眠していたこの地が、〈わたしたち〉を翻弄する既存の価値から解放させ、未来を自由に思い描ける場所として映ったからです。

人々が遭遇し、合流(MEETING)して生まれる《知》の連携のなかに、未来を創造しようとするすべての個人にとっての有為な手がかりがみつかるはず。21世紀初頭の30年間の芸術の変遷を追い、未来を思い描くための〈出来事〉を創造する本プロジェクトが今年で10年を迎えるにあたり、これまでに〈語られたこと〉を断片化し、再び統合する過程において浮き上がる〈思わずも(in spite of)語られたこと〉を丹念に読み解きます。

この《脱-構築》的プロセスによって編集されたテキストは、2034年までのこれからの未来を構築するうえで、〈わたしたち〉がいまのような《知》を抛り所に〈出来事〉を起こすのか、つぎなる《起程》への導となることでしょう。

加速度的な社会の変化によって先が見えなくなってしまった未来を再び〈わたしたち〉自身が自由に思い描くために、そして、臨界点ともいべき現代社会における〈芸術〉の努めを果たすべく、《臨界の芸術論Ⅱ—10年の趣意書》を編纂します。

NAMURA ART MEETING '04-'34 Vol.5(予定)

2014年12月 第2回・3回インタビュー
2015年1月 第4回ゲスト・トーク

NAMURA ART MEETING '04-'34 実行委員会

実行委員 大島賛都/甲斐賢治/木ノ下智恵子
アドバイザー 小原啓渡
事務局 内山幸子/仲川あい/樋口貞幸

プロジェクト・ミーティング&インタビュー

NAMURA ART MEETING '04-'34は、《セオリー・アンド・プラクティス》の実験場であり、遭遇と合流のためのプラットフォームです。

ここでの〈出来事〉を、過去の記憶や記録、記述から抽出し、それらを解きほぐし解体し、断片化された情報を分類し、再び統合しなおすことにより新たな物語『臨界の芸術論Ⅱ—10年の趣意書』として紡ぎ直します。

■第1回 プロジェクト・ミーティング&インタビュー

NAMURA ART MEETING '04-'34はどのようにして始まり、何が起こったのかについて本実行委員会の呼びかけ人であり、現アドバイザーの小原啓渡氏に公開インタビューを実施。合わせて、これまでの記録映像やアーカイブも公開します。

日時 2014年10月25日[土] 17:00-19:30
会場 名村造船所跡地[大阪市住之江区北加賀屋4-1-55]
インタビュー 小原啓渡[アートコンプレックス 統括プロデューサー]
料金 無料[定員:50名]
連絡先 NAMURA ART MEETING '04-'34事務局
E-mail office@nam04-34.jp

※本プログラムは「声なき声、いたるところにかかわりの声、そして私の声 芸術祭2」の一環としても行なうものです。

主催 大阪大学文学研究科
共催 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター
大阪大学国際公共政策研究科
大阪大学総合学術博物館
助成 平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
「劇場・音楽堂・美術館等と連携するアート・フェスティバル人材育成事業」

